

Ogata Residence

Architecture : KONARA HOUSE

(no.96に掲載)

DATA

所在地：神奈川県茅ヶ崎市 工事種別：一戸建て 新築 構造と規模：木造 地上2階建て 敷地面積：406.86㎡ 建築面積：100.33㎡ 延べ床面積：147.11㎡ リビング：約10㎡ 家族構成：小形 究 小形美奈子 子ども二人
主な仕上材料(リビング)：床：オーク無垢材フレンチヘリンボーン貼(り)(KONARA HOUSE) 一部磁器質タイル600角貼(り)(リザードシルバー/ダイナワン) 壁：AEP塗装(ワンダーコート/PPG)+モールディング(MH703/METRIE)



MOLDING

モールディング

空間に奥行きと表情を与えるモールディング。開口まわりや壁を装飾性だけでなく、家具などの接触から壁を保護する役割も。彫りが深く大ぶりなものや、比較的フラットで繊細な模様が施されたものなど、デザインとサイズが豊富だ。素材は重厚感のある木のほか、軽量で天井にも付けやすいポリウレタン、不燃対応が必要な高層階に適したセラミックなどさまざま。好みに加え、設置場所や建築の用途も考慮する必要がある。

KEY POINTS

タイムレスな住まいを目指し、素材本来の魅力を引き出すことを心掛けている。自邸では全体に統一感をもたせるため、窓や腰壁など随所に白のモールディングをデザイン。最高天井高約6mの開放的なリビングでは、ボリューム感のあるマントルピースを同じく白のモールディングを用いて造作した。腰壁の上部はペイントで塗り分け、切り替え部分にモールディングを用いて壁に陰影を描き、空間に奥行きを与えた。(KONARA HOUSE 小形 究 小形美奈子)

MA Residence

Interior Design : STAR

(no.82に掲載)

DATA

所在地：東京都港区 工事種別：マンション 内装のみ 全面改装 構造と規模：RC造 地上4階建ての一室 床面積：205.09㎡ リビング&ラウンジ：58.6㎡ 家族構成：オーナー
主な仕上材料(リビング&ラウンジ)：床：黒モルタル金ゴテクリアコート仕上げ 一部ジャーマンオーク材フローリングエージング加工仕上げ 壁：AEP塗装3分艶仕上げ+モールディング 天井：AEP塗装3分艶仕上げ+モールディング



KEY POINTS

モールディングという素材は、額縁を感じさせる要素。この住まいは、部屋ごとに趣を変えてアートやオブジェをコーディネートした。扉がなくつながる手前のリビングと奥のラウンジを仕切る壁の開口は、ピクチャーウィンドーと考え、奥の部屋の景色が絵画を思わせるようデザインしている。その演出として開口まわりにモールディングを施し、壁と同色に仕上げることで空間になじませ、景色を際立たせた。(STAR 佐竹永太郎)



建築家、小形 究さんと妻でインテリアデザイナーの美奈子さんの自邸では、自らデザインした収納を取り入れているため、統一感のあるインテリアに。右手は食器類、左手は洋書などを飾っている。[小形 誠]設計/KONARA HOUSE (no.96に掲載)

STORAGE PLANNING

インテリアを楽しむための収納デザイン

見た目の美しさと使い勝手の両立は、住まいづくりにおいて、また日々の生活において課題の一つだ。ウォークイン・クローゼットやパントリーといった収納スペースはもちろん、置き家具やシステム収納などさまざまな“収納”を場所や用途に合わせて取り入れ、自分らしい住まいを実現しよう。

Photograph : Nacása & Partners



OWNER'S COMMENT

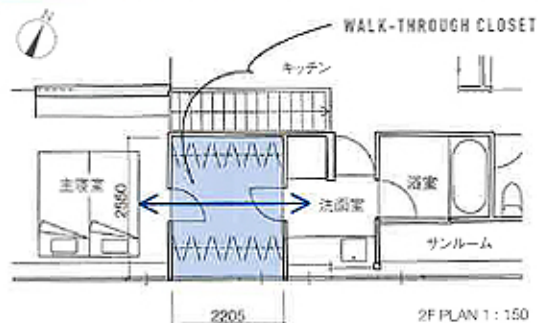
クローゼット内で夫婦それぞれの場を用意したり、バッグを綺麗に並べられるよう特注の仕切り棚やオフシーズンの衣類を収納する様、ボックスのほか、家具を置くことを考慮しておけば良かった。

K RESIDENCE

Architecture : CAPD

(no.110に掲載)

住まいの2階に主な生活の場をまとめたK邸では、夫妻の衣類、バッグなど主に身につけるものを収納する6㎡ほどのウォークスルー・クローゼットを配置。主寝室、洗面室のそれぞれにアクセスしやすい、通路を兼ねたプランにすることでパントリー(155頁に掲載)と同様、単に収納のためだけとなる面積を抑えて有効活用している。同時に「着替える」「洗う」「干す」「しまう」といった洗濯にかかわる一連の動作を意識した配置計画によって、効率的な家事動線を実現した。



DATA

所在地/愛知県 構造と規模/木造 地上2階建て

敷地面積/521.87㎡ 建築面積/123.78㎡

床面積/1階36.12㎡ 2階123.78㎡ 合計159.90㎡

家族構成/夫(40代) 妻(40代) 長女(16歳) 長男(14歳) 次女(11歳)

※設計者の連絡先は207頁に掲載



OWNER'S COMMENT

家族が同時に身支度できるよう設計したので、「渋滞」がなくても使いやすい。子どもが年頃になっても気にならないよう、浴室と洗面スペース側にはドアを設けた方が良かったかもしれない。

OGATA RESIDENCE

Architecture : KONARA HOUSE

(no.96に掲載)

建築家の小形 究さんとインテリアデザイナーの美栄子さんが家族と暮らす住まいは、リビングやダイニングなど、パブリック性の高い空間を南側に、水まわりや寝室といったプライベート性の高い空間を北側に配置してゾーニング。1階の北側に集約した水まわりは、洗面スペースと浴室をつなぐ動線上に家族皆の着替えやタオルなどを収める、約5㎡のウォークスルー・クローゼットを用意。着替えの場としても使用できるよう、洗面スペースとの間にストライプ柄のカーテンを設置して目隠しに。閉めると個室のように活用できる。

DATA

所在地/神奈川県茅ヶ崎市

竣工/2009年10月

構造と規模/木造 地上2階建て

敷地面積/406.86㎡ 建築面積/100.33㎡

床面積/1階96.60㎡ 2階50.51㎡ 合計147.11㎡

家族構成/小形 究(40代) 美栄子(40代)

長男(15歳) 長女(14歳)

※設計者の連絡先は208頁に掲載

